

工事写真報告書

工 事 番 号 平成 27 年度

工 事 名 **ビジネスエンジェル 様**

工 事 箇 所 屋上防水・外壁・その他 塗装工事一式

工 事 住 所 福岡市 東区 多の津

工 期 着 手 平 成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社





外観



外観



外観



外観



外観



防水部



防水部



防水部



防水部



防水部



防水部



防水部



防水部



防水部

クラックが見られました。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・防水部の痛み
や建物の寿命につながりますので、
シーリング・パテ等で補修をを
おこない塗装をしていきます。



防水部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・防水部の痛み
や建物の寿命につながりますので、
シーリング・パテ等で補修ををおこ
ない塗装をしていきます。



防水部

同上



防水部

同上



防水部

同上



防水部



防水部



防水部



防水部



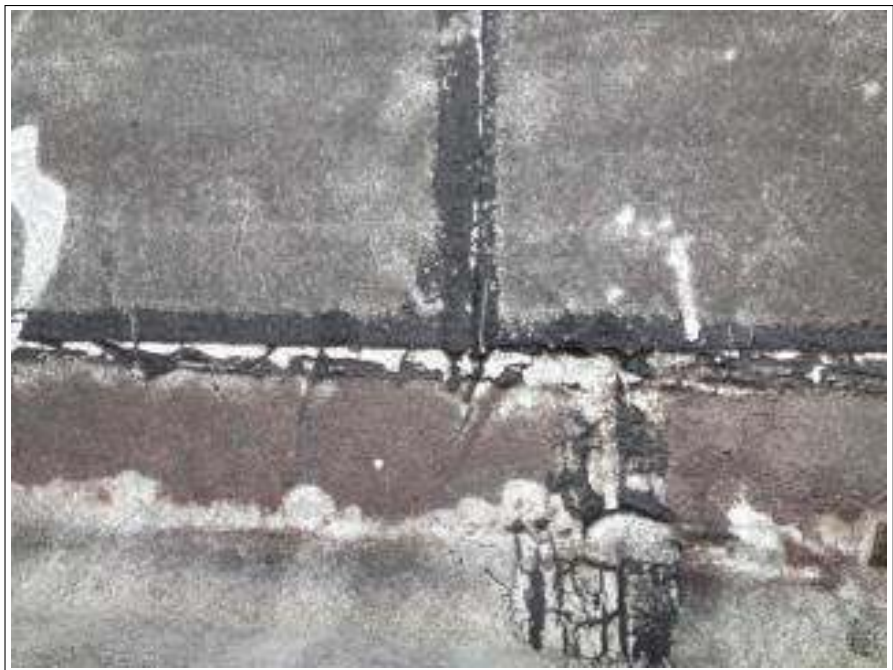
防水部



防水部

劣化が見られます。

この状態になると表面から水や湿気を直接吸い込んでしまい、躯体の痛みや外壁の腐食につながりますので、早めの塗装をお勧めします。



防水部

同上



防水部

同上



塔屋



塔屋



アンテナ 現状写真



塔屋 壁面

全体的に見られます。
この状態になると表面から水や湿気を直接吸い込んでしまい、躯体の痛みや外壁の腐食につながりますので、早めの塗装をお勧めします。



塔屋 土間

同上



塔屋 シーリング劣化部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・ボードの痛みや建物の寿命につながりますので、シーリング等で補修ををおこない塗装をしていきます。



塔屋 立ち上がり

同上



塔屋 立ち上がり

同上



塔屋 立ち上がり

同上



塔屋 爆裂部

鉄筋が出てきています。

この部分はケレンでサビを落とし、サビ止め・樹脂モルタル等の補修をおこない塗装をしていきます。

※ 形を形成する場合は左官工事をいれますので別途



塔屋 爆裂部

同上



タラップ

この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



笠木

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



鉄部B 0 X

同上



鉄部B 0 X

同上



鉄部B 0 X

同上



鉄部B 0 X

同上



消火栓B 0 X

同上



鉄部B 0 X

同上



配管

同上



配管

同上



配管

同上



鉄柱

同上



シャッター

同上



シャッターBOX

同上

※ 蛍光灯・天井復旧は別途



シャッター

同上



シャッター

同上



軒天

経年劣化しております。
この部分は通気性の良い軒天専用の
塗装をしていきます。



受水槽

遮光塗料での塗装が必要です。



外構塀

こちらは通気性の良い塀専用の塗装
をしていきます。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化し、チョークの粉状のような状態になっています。

この状態になると表面から水や湿気を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体の痛みにつながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 劣化部

旧塗膜の劣化が見られます。

この状態になると表面から水や湿気を直接吸い込んでしまい、躯体の痛みや外壁の腐食につながりますので、早めの塗装をお勧めします。



外壁 剥離・膨れ部

旧塗膜が剥離をおこしています。

このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜をケレン作業で除去し専用の下塗り・上塗りを行います。



外壁 剥離・膨れ部

浮き・密着不慮の要因としては、

- ・洗浄不足
- ・下塗 塗布量不足
- ・下塗 選択ミス

等が、考えられます。



外壁 剥離・膨れ部

同上



外壁 剥離・膨れ部

同上



外壁 クラック部

全体的に見られます。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・ボードの痛み
や建物の寿命につながりますので、
シーリング等で補修ををおこない塗
装をしていきます。



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

同上



外壁 クラック部

0.3mm以上のキレツは補修が必要です。



外壁 爆裂部

同上



外壁 爆裂部

同上



磁気タイル面

経年劣化やタイル目地からの雨水の浸透により、タイル面の浮きや剥落を起こしてきます。

剥落やひび割れ・浮きが原因で事故につながる恐れがありますので、早めの塗装や補修をお勧めします



磁気タイル面

全体的に浮きが見られます。

打診検査後に樹脂注入し、塗装をしていきます。

※タイル張替えは別途



磁気タイル面 クラック

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

認定証明書

外装劣化診断士

認定番号：13100230

氏名 戸高 勇樹 様

外装劣化診断士認定試験の結果、基準を満たし合格したことを証します。

平成25年11月10日

外装劣化診断士認定証



一般社団法人住宅保全推進協会

